

令和7年度 外国人の特別入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 74

千葉県立成田国際高等学校 全日制の課程 国際科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者2名の個人面接 日本語（必要に応じて英語） 検査時間：1名約15分
(3) 作文	字数：601字以上800字以内（日本語の場合） 語数：300語以上400語以内（英語の場合） *受検者が日本語又は英語を出願時に選択する。 検査時間：50分
(4) 外国人特別措置 適用申請書	実施要項（様式7の(1)又は(2)）により、入国年月日及びその前後の教育 歴等を説明したもの

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値で評価する。 評定1又は未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年で20日以上、又は3か年で40日以上の欠席がある場合は、審議 の対象とする。
ウ その他の記載事項	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参 考とする。

(2) 面接

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

評価項目	評価基準
ア 目的意識	志望動機が明確であり、入学後に意欲的に学校生活に取り組みたいと考えている。
イ 発言内容・理解力	質問に対して具体例を用いながら、的確に答えている。
ウ 態度・マナー	積極的な態度かつ適切なマナーで、受け答えをしている。

(3) 作文

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

評価項目	評価基準
ア 内容	テーマに即した内容になっている。
イ 構成	自分の考えを効果的に構成・表現し、首尾一貫している。
ウ 表現・表記	適切な表現・表記となっている。 *日本語の場合は、文字、送り仮名、漢字の使用、原稿用紙の使い方が適切であり、かつ字数に過不足がない。英語の場合は、綴り、文法、句読法、体裁が適切であり、かつ語数に過不足がない。

(4) 外国人特別措置適用申請書

評価項目	評価基準
記載内容	応募資格があることを確認する。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

中学校の校長から送付された調査書、外国人特別措置適用申請書等の書類の審査並びに面接及び作文の結果を資料とし、総合的に判定して選抜を行う。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。